

佐々木

飛龍高

アジア王者

レスリング・カデット選手権



佐々木 航

レスリングのアジアカデット選手権は10日、ウズベキスタンで

男子グレコローマンを行い、51kg級の佐々木航(飛龍高3年)が優勝した。同選手権の男子グレコで日本人王者は15年ぶり2人目。

佐々木は1回戦で台湾の選手にテクニカルフォール勝ちし、ウズベキスタンとイランの選手を破って決勝に進出。決勝ではタジキスタンの選手を3-2で下した。同選手権は3年連続出場で、一昨年は46kg級11位、昨年は50kg級5位だった。

た。佐々木は昨年の全国高校生選手権優勝、愛媛国体準優勝などグレコで活躍。4月のJOCシユニア五輪杯を制し、7月の世界カデット選手権(クロアチア)の出場権も得ている。飛龍高の井村監督は「反り投げや一本背負いなど投げ技が多彩。3年連続出場なので、今回は優勝しかなかった」と偉業をたたえた。